

| | | | | | | |
|------------------------|--|------|----------------|-------|---|-----------------|
| 首都大学東京 | 情報リテラシー実践ⅠA | 科目種別 | 都市教養科目 (必修) | 単位数 | 2 | クラス指定科目 |
| (東京都立大学等) | | 科目種別 | | 単位数 | | 指定科目 クラス指定科目 |
| 担当教員 | 時間割参照 | 前期 | 月～金曜日 | 2・3時限 | | |
| ①授業方針・テーマ | ①基本的な情報活用能力に係る知識、技能を習得すると共に、表計算ソフトウェアの発展的利用として、基礎的な統計処理を含む問題解決に取り組む。 | | | | | |
| ②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標 | ②○ 基本的な情報活用能力及び本学ローカルシステムに係る知識・技能 ○ 情報倫理 ○ 統計学の基礎知識とデータ処理 ○ データ処理の基礎知識と技能 | | | | | |
| ③授業計画・内容 | ③基本的な情報の活用及び、統計学の基礎知識と表計算ソフトを用いた問題解決 1. 情報倫理講習, ログオン, 授業ガイダンス, 教育システムの紹介, レディネス調査 2. ファイル・フォルダの管理, 電子メール送受信 3. コンピュータやネットワークの仕組み, 情報検索(WWW, 図書館情報など) 4. 情報倫理 5. 表計算の基礎1(セルやシートの操作) 6. 表計算の基礎2(書式の設定, データと数式の利用法) 7. 表計算の基礎3(関数の使い方とデータのグラフ化) 8. 表計算の基礎4(ソート, フィルタリング) 9. 統計学についての基礎的知識1(データの種類, 基本統計量, 度数分布, 統計図表) 10. 母集団と標本, 正規分布とt分布 11. 等分散を仮定した2グループの平均のt検定 12. 等分散でないと仮定した2グループの平均のt検定 13. 対応のある2グループの平均の検定 14. 相関分析 15. 単回帰分析, まとめ | | | | | |
| ④テキスト・参考書等 | ④eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。クラスによっては別に指示する場合がある。 | | | | | |
| ⑤成績評価方法 | ⑤以下の観点に基づき総合的に判定する(担当教員により若干異なることがある) ・授業への出席(四回以上欠席は原則として不合格とする) ・最初の基本部分(1回～4回)の課題及び、それ以降の発展部分における課題の提出状況 | | | | | |
| ⑥特記事項 | ⑥初回の授業の「情報倫理講習」を受講しない場合は、その後の授業を原則として受講できなくなるので注意する事。関連する授業として後期に、データ処理を扱う情報リテラシー実践ⅡA, プログラミングを扱う情報リテラシー実践ⅡB, また、画像と音を扱う情報リテラシー実践ⅡCを提供している。 | | | | | |